

⚠ 設置上の注意

- ①スカイラーパー・エアリーを4F以上の高所に、取り付けする場合及び風の強い場所への取り付けは、補強を必要とします。
- ②スカイラーパー・エアリーは手摺、面格子としては使用しないで下さい。

⚠ 施工上の注意

- ①2,000mm以下のピッチで柱又は方立を取り付けしてください。
- ②柱を躯体に取り付ける際は、コーキング剤（別途手配）を下穴に十分注入してからネジ等を閉めてください。
- ③当社指定の取り付け金具で施工してください。
- ④みだりに改造、改良をしないでください。
- ⑤取り付けは専門業者にて行ってください。

⚠ 使用上の注意

- ①スカイラーパー“エアリー”の上に乗ったり身を乗り出さないでください。
- ②スカイラーパー“エアリー”に強い衝撃を与えないでください。
- ③踏み台や足掛かりになる設置物を置かないでください。
- ④年に1度はネジ、ボルトの緩みや劣化が生じていないか点検してください。
- ⑤製品に電線を巻き付けしないでください。漏電により感電する恐れがあります。

アルミ製品お手入れ方法

完成後のメンテナンスを下記の要項にてお願い申し上げます。

●腐食の最大の原因は、大気中にあります。

大気中の汚れには ①ほこり ②すす(ばい煙) ③鉄などの金属粉 ④亜硫酸ガスなどの排気ガス ⑤海塩などがあります。これらがアルミの表面に付着し、そのまま放置しておくことで空気中の湿気や雨水の影響を受けてアルミを腐食させてしまうことがあるのです。

●年に1～2回の水洗いで腐食は防げます。

アルミを腐食から守る最も効果的な方法は、定期的な水洗いです。年に1～2回の水洗いと空拭きをするだけで大きな効果をもたらします。汚れのひどい工業地帯や海岸の近くでは、状況に応じて回数を増やしてください。

●建物の立地条件と清掃の頻度

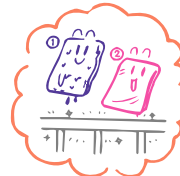
基本的には汚れが目立つ前の清掃をお勧めします。あくまで参考としてご覧ください。

臨海工業地帯…5～6回/年 海岸・工業地帯…4～5回/年
市街地…2～3回/年 田園地帯…1～2回/年

※メンテナンスには布やスポンジなどの柔らかいものを用い、金属製ブラシや金ペラの使用は避けてください。

※洗剤は、必ず中性洗剤をうすめて使用してください。

※小石、砂などが付着したままこするとアルミ表面に傷がつきます。あらかじめ取り除いてください。



●汚れの軽い場合

水でぬらした布で拭き、空拭きしてください。



●汚れのひどい場合

中性洗剤をうすめた液で汚れを落とし、洗剤が残らぬよう水洗いしてください。その後、空ぶきをしてください。



●汚れが著しくサビが出ている場合

中性洗剤をつけたスコッチブライト、または目の細かい紙ヤスリで軽くこすり、汚れやサビを取り除きます。その後、水洗いし、空ぶきをしてください。

保 証 書

保 証 者……森田アルミ工業株式会社

保 証 の 対 象 者……住宅の所有者

対 象 商 品……森田アルミブランドで販売しているエクステリア商品

保 証 内 容……通常の取り扱いによって生じた品質不良、性能、および機能の低下によるもので、かつ当社が認定したもの。

保 証 期 間……当該商品の取り付け完了後2年間。

商品保証免責事項……原因が次のような場合は、保証期間であっても有償修理となります。

(イ) 環境が特に悪い場所に取り付けられたもの。

(たとえば塩害や大気中の砂塵や煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどの反応物質が付着して起こる腐食、高温、低温、多湿による損傷や故障)

(ロ) 保証者の表示した取り扱いから逸脱したもの。

a. モルタル（アルミに接触する部分）に海砂や急結剤を使用

b. 中性洗剤以外のクリーニング剤を使用

c. 塩分などを含んだ木材を使用

d. 施工指示通りに施工がなされていない（コーキング等）

(ハ) 使用者もしくは第三者の故意、過失、または不当な修理や改造によるもの。

(ニ) 保証者が表示した以上の性能を必要とする箇所に取り付けられたために発生したものや本来の使用目的以外の用途に使用されたもの。

(ホ) 不可抗力（天災、地震、地盤沈下、火災、爆発、騒乱、落雷、異常電圧等）により発生したもの。

(ヘ) 当社供給範囲外のもの。（波板等）

以上